

# 地域密着型金融推進計画

## ・集中改善期間（平成15～16年度）における取組み

「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」に基づく当金庫機能強化計画では、集中改善期間中（平成15～16年度）の主な取組みは以下のとおりである。

### 1. 「中小企業金融の再生に向けた取組み」

#### （1）創業・新事業支援機能等強化を図る取組み

業種別融資審査体制を整備したほか、職員の融資審査能力向上のための人材育成を強化することにより、融資審査態勢の強化を図る取組みを行った。人材育成に係る特色ある取組みとして、融資に関わる研修や金庫本体への支援を目的として子会社「あきしん総研㈱」を設立。同社への当金庫職員の派遣研修を継続して行い、融資審査能力向上等、職員のスキルアップを図った。

また、「秋田アカデミーベンチャーファンド」への出資や、中小企業金融公庫と「業務連携・協力に関する覚書」を締結するなど、創業・新事業を支援するための取組みを行った。

#### （2）取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化への取組み

取引先のうち大口要注意先等数社の代表者等に対し、当金庫担当役員が経営全般についてヒアリングを行い、意見交換をしながら経営の改善指導等を行う取組みを継続して実施した。

また、職員のコンサルティング能力向上を図るため、子会社「あきしん総研㈱」への派遣研修等、人材育成を強化した。

#### （3）早期事業再生に向けた積極的取組み

子会社「あきしん総研㈱」で事業再生支援のため取引先企業の経営改善提案書を作成。同提案書に基づき経営改善計画を数社が実践するなど、再生に向けた企業の支援強化に取り組んだ。

また、秋田県中小企業再生支援協議会の活用を図ったほか、事業再生に向けた人材育成を強化した。

#### (4) 新しい中小企業金融への取組みの強化

内部格付やスコアリングモデルに基づく審査体制を確立し、不動産担保・保証に過度に依存しない融資推進等のため、企業信用格付システムを導入したほか、信金中央金庫で運用を開始した中小企業信用リスクデータベースへ参加した。

#### (5) 顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化

与信取引に対する説明態勢に係る「与信取引の説明要領」および「苦情処理規程」の制定、双方署名方式の信用金庫取引約定書の導入等、態勢強化を図った。

## 2. 「健全性確保、収益性向上等に向けた取組み」

#### (1) 資産査定、信用リスク管理の厳格化

債務者区分と統合的な内部格付制度構築のための企業信用格付システム、適正な不動産評価を行うための不動産担保評価管理システム、正確な償却・引当を行うための貸倒実績率算定システムおよび債権償却引当金管理システムを導入、システム化による正確な自己査定に基づく自己資本比率算出の精緻化を図る取組みを行った。

また、企業信用格付システムを導入したほか、信金中央金庫で運用を開始した中小企業信用リスクデータベースへ参加するなど、信用リスク管理の高度化に対する取組みを行った。

#### (2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上

内部格付制度に基づく適正な金利設定等、収益力の向上に向けた取組みとして、企業信用格付システムを導入し、格付試行のほかマニュアルの整備等を実施した。

また、信金中央金庫で運用を開始した、中小企業信用リスクデータベースへ参加した。

#### (3) ガバナンスの強化

総代会の機能強化に向けた取組みについては、総代選考基準の明確化、総代の定年および重任制限を規定した総代選任規程を改定・施行し、総代会の活性化を図るとともに総代経験者を増やすことで、広く会員の意見を金庫経営に反映させる仕組みを取り入れた。

また、定期総代会のほか、金庫経営の状況等を伝達するとともに金庫経営に対する意見交換の場として、地区別に「総代懇談

会」を定期的開催した。

更に、総代会だけに留まらず金庫経営に幅広い意見を反映させることを目的に、総代を定年で退いた人や年金受給者、サラリーマン等により、「秋田信用金庫モニター会議」を立ち上げた。

(4) 地域貢献に関する情報開示等

地域貢献等に関する情報開示については、業界団体の指針を踏まえて、ディスクロ誌、ホームページおよび当金庫の情報誌「鶴田の風」により開示した。

(5) 法令等遵守(コンプライアンス)

法令等遵守態勢については、行動基準をはじめ規程等の整備、通牒等の指示文書の発出、研修等の実施によりコンプライアンスの周知徹底に努めたほか、コンプライアンスの徹底を年度計画の基本方針に掲げ、経営の最重要事項として取組んだ。

### 3. 「地域の利用者の利便性向上を図る取組み」

(1) 地域貢献等に関する情報開示

業界団体の指針を踏まえ、地域への資金供給の状況や預金等の地域への活用状況等、経済的地域貢献のほか、社会的・文化的地域貢献について、ディスクロ誌、ホームページおよび当金庫の情報誌「鶴田の風」により開示した。

(2) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立

総代およびモニターに対して満足度アンケートを行い、利用者の要望事項等を経営に反映させる取組みを行った。

## ．重点強化期間（平成17～18年度）における取組み

当金庫は、「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム（平成17～18年度）」の策定の経緯を踏まえ、今回の「重点強化期間」（平成17～18年度）では、「集中改善期間」（平成15～16年度）における種々の取組みについて、その継続と深化に重点をおきつつ、更に地域性、地域金融機関としての規模に見合った施策を再構成するものとする。また、新たに要請される項目についても、これまで推進してきた地域密着型金融の承継の上に立脚し、本「地域密着型金融推進計画」を策定する。

具体的な当金庫の「地域密着型金融推進計画」の取組み方針は以下の通りである。

### 1．事業再生・中小企業金融の円滑化

#### （1）創業・新事業支援機能等の強化

業種別担当者の配置による業種別融資審査体制を強化するとともに、企業の将来性や技術力を的確に評価できる人材育成を図るため、子会社あきしん総研（株）への派遣研修等を実施し、融資審査態勢の強化を図る。

また、「あきしん土日相談センター」の無料経営相談を活用し、創業・新事業支援機能強化に取り組むほか、信金中央金庫、日本政策投資銀行、中小企業金融公庫、中小企業支援センター等の業務協力を利用し、地元ベンチャー企業支援に取り組む。

#### （2）取引先企業に対する経営相談・支援機能強化

経営相談窓口としての「あきしん土日相談センター」を活用するほか、中小企業診断士育成等研修体制の充実を図り職員のコンサルティング能力の向上に努めるなど、取引先企業に対する経営相談ならびに支援機能強化に取り組む。

また、経営改善の具体的指標として、債務者区分のランクアップに努め、ランクアップ内容についてディスクロージャー誌、ホームページ等で公表する。

#### （3）事業再生に向けた積極的取組み

事業再生に向けた取組みが最大の地域貢献であることを踏まえ、公認会計士による経営相談、子会社あきしん総研（株）の関与等、事業再生機能を強化する取組みを行う。

また、多様な事業再生手法の活用や、中小企業再生支援協議会等外部機関の事業再生機能の活用を強化する。

**(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等**

不動産担保・保証に過度に依存しない融資を促進するため、ローンレビューの徹底を図るほか、企業信用格付システムおよび中小企業信用リスクデータベースの活用を強化する。

また、中小企業の資金調達手法の多様化等への対応を強化するほか、プロジェクトファイナンスや地域CLOについても、必要に応じて取り組む。

**(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化**

説明態勢および相談苦情処理機能強化のため、専門担当部署を設置する。

また、「与信取引の説明要領」および「苦情処理規程」の定着により、説明態勢および相談苦情処理機能の強化を図る。

**(6) 人材の育成**

企業の将来性や技術力を的確に評価できる能力、および経営支援能力を備えた人材育成を強化する。

また、中小企業診断士育成等研修体制の充実を図る

当金庫の主要取引企業は、中小企業、なかんずく小規模零細企業にその多くをおくものである。この顧客層に対し、当金庫は、創業以来、一貫して協同組織の原点である相互扶助の精神を基本において、なによりも顧客とのコミュニケーションを重視し、地域社会との共生を目指し、地域社会の繁栄を願って経済活動を展開してきた。このビジネスモデルは今後も不変である。

今般の「事業再生・中小企業金融円滑化のための取組み」は、これまで展開してきたこのビジネスモデルを中心とする、いわばその同心円の核となる事は言うまでもない。

以上の事を念頭に置き、事業再生は無論のこと、ともすれば県外企業との競争力の欠乏を指摘されがちな本県企業において、新たな付加価値の創造を目論んだ投資を刺激すべく、金融サービスの側面から良きパートナーとして貢献を図らんとするものである。

そのために、コミュニケーションの重視、いわゆる、対面型重視による顧客情報の蓄積を基に営業活動を展開する、という原点に立ち返って、役職員一同の自覚を促し、本取組みにより事業再生・中小企業金融の円滑化に資するものとする。

## 2 . 経営力の強化

### ( 1 ) リスク管理態勢の充実

正確な自己査定を行うため、企業信用格付システム、不動産担保評価管理システム、貸倒実績率算定システムおよび債権償却引当金管理システム等システム運用を強化し、自己資本比率算出の精緻化を図る取組みを行う。

また、各システムの活用を強化し、各種リスクの計量化など高度化を図る取組みを行う。

### ( 2 ) 収益管理態勢の整備と収益力の向上

内部格付制度の構築と外部データベースの活用により、収益管理態勢の整備と収益力の向上に向けた取組みを強化する。

### ( 3 ) ガバナンスの強化

経営内容の健全性、信頼性確保のため、積極的な経営情報の開示に努める。

また、当金庫の健全性を維持し事業の継続性を確保するため、牽制機能となるコーポレートガバナンスを強化する取組みを行う。

### ( 4 ) 法令等遵守（コンプライアンス）態勢の強化

コンプライアンスの徹底が、経営の最重要事項として取組みを強化する。

### ( 5 ) I T の戦略的活用

当金庫が加盟している共同事務センターおよび業界団体の I T 計画に合わせて取組む。

### ( 6 ) 協同組織中央機関の機能強化

当金庫の経営課題を的確に把握し、経営力強化のために信金中央金庫との連携強化を一層密にし、中央機関としての信金中央金庫の機能を有効に活用する。

地域金融機関の競争力の源泉を端的に表現すれば、高い自己資本比率の構成と、自己資本に見合ったリスク管理強化にあると言える。

当金庫では、収益管理態勢の整備と、自己資本比率算出の精緻化を図り、そしてリスク管理の高度化により経営力の強化を推進するものである。

また、高い自己資本比率の構成と、収益力の実現を図る上で、ガバナンスの強化とコンプライアンスの強化、この二つが不可分に求められるのが今日の金融機関を取り巻く状況である。

協同組織金融機関として、収益力に基づく健全性と、企業経営の透明性の確保を不断に追求するものとし、この、健全性、透明性への取組みを通して、地域社会の中にゆるぎない信頼を確保するため、経営力強化に邁進するものとする。

### 3 . 地域の利用者の利便性向上

#### ( 1 ) 地域貢献等に関する情報開示

地域の利用者に対する情報提供の充実を図るため、地域貢献に関する情報開示について、利用者の目線に立ち、かつ充実したわかり易い情報開示に積極的に取り組む。

#### ( 2 ) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立

利用者へのサービス強化のため、満足度アンケート等により利用者の要望事項等に耳を傾けるとともに、経営に反映させる取組みを行う。

#### ( 3 ) 地域再生推進のための各種施策との連携等

「まちづくり」等、地域再生および活性化に向けた取組みを強化する。

当金庫の三つの経営理念の内、冒頭に掲げるのが「共生」という理念である。これは、地域の人々との対話の中で共感の和を広げ、「共に生きる」を第一とする、ということである。対話の中でとはすなわち、当金庫が地域の利用者に対し、自らの経営の透明性を高め、利用者の目線に立ったわかり易い情報開示を行うことで信頼を得、その結果として多様化する利用者の真のニーズに耳を傾けることが可能になるということである。

今般の取組みにより、当金庫が、地域のなかで、社会的責任を果敢に担い、利用者の利便性の向上を図ることを通して、地域金融機関としての存在感を高め、あわせて、地域社会の活性化に資することにより、当金庫の更なる企業価値の向上を目指すものとする。

## アクションプログラムに基づく個別の取組み

項 目	具体的取組策	実施スケジュール				
		17年度上期	17年度下期	18年度上期	18年度下期	19年度以降
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化						
(1) 創業・新事業支援機能等の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年10月より、業種別担当者の配置を建設業・不動産業担当者2名、その他業種担当者2名として融資審査体制を強化する。</li> <li>・子会社あきしん総研㈱への派遣研修の継続により融資審査能力の向上を図る。</li> <li>・信用金庫業界内研修等へ積極的に派遣し、目利き能力の向上を図る。</li> <li>・公認会計士、税理士、弁護士等外部講師招聘による金庫内研修を実施する。</li> <li>・事業再生支援先への人材派遣を行い、再生支援先企業、金融機関双方から目利き能力、融資審査能力の向上を図る。</li> <li>・平成17年4月から経営相談のため毎週土日に開催している「あきしん土日相談センター」を活用し、創業・新事業進出の相談窓口として支援サポートを行う。</li> <li>・「産業クラスターサポート金融会議」へ継続参加し、案件があれば活用を図る。</li> <li>・「中小企業支援センター」の事業内容の周知を図り、活用可能先の潜在的ニーズの汲み上げを図る。</li> <li>・「中小企業金融公庫」と業務連携会議を開催し、協力強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきしん土日相談センター」において、公認会計士による無料経営相談を実施</li> <li>・東北地区信用金庫協会主催「目利き力養成講座」へ代理係長クラス4名派遣</li> <li>・子会社あきしん総研㈱で派遣研修実施（代理クラス1名、係長以下クラス5名、計6名派遣）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・融資審査における業種別担当者を、建設業・不動産業担当者2名、その他業種担当者2名配置</li> <li>・「あきしん土日相談センター」において、公認会計士による無料経営相談を実施</li> <li>・東北地区信用金庫協会主催「企業再生支援講座」へ店長クラス2名、「相談業務支援基礎講座」へ代理クラス2名派遣</li> <li>・子会社あきしん総研㈱で派遣研修実施</li> <li>・外部講師招聘による金庫内研修の実施</li> <li>・「中小企業金融公庫」との業務連携会議開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきしん土日相談センター」において、公認会計士による無料経営相談を実施</li> <li>・信用金庫業界内研修への派遣</li> <li>・子会社あきしん総研㈱で派遣研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきしん土日相談センター」において、公認会計士による無料経営相談を実施</li> <li>・信用金庫業界内研修への派遣</li> <li>・子会社あきしん総研㈱で派遣研修実施</li> <li>・外部講師招聘による金庫内研修の実施</li> <li>・「中小企業金融公庫」との業務連携会議開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記取組みの継続と強化</li> </ul>
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の経営相談、事業再生支援のための相談窓口として設置した、「あきしん土日相談センター」にて無料相談を実施する。このうち、毎月第2・第4土曜日は、公認会計士による無料相談日とする。</li> <li>・本部ヒアリング先の充実と支援先の拡大を図り、営業店と本部の連携した経営改善指導の強化に取り組む。</li> <li>・子会社あきしん総研㈱による経営改善提案書の作成をより充実させ、同提案書をもとに改善計画の実践に取り組む。</li> <li>・ディスクリ誌、ホームページ等で、経営改善支援先のランクアップ先数等を公表する。</li> <li>・中小企業支援スキルの向上を目的とした取組みとして、中小企業診断士育成等研修体制を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきしん土日相談センター」において、公認会計士による無料経営相談を実施</li> <li>・ディスクリ誌、ホームページ等で、経営改善支援先のランクアップ先数等を公表</li> <li>・東北地区信用金庫協会主催「目利き力養成講座」へ代理係長クラス4名派遣</li> <li>・子会社あきしん総研㈱で派遣研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきしん土日相談センター」において、公認会計士による無料経営相談を実施</li> <li>・東北地区信用金庫協会主催「企業再生支援講座」へ店長クラス2名、「相談業務支援基礎講座」へ代理クラス2名派遣</li> <li>・子会社あきしん総研㈱で派遣研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきしん土日相談センター」において、公認会計士による無料経営相談を実施</li> <li>・ディスクリ誌、ホームページ等で、経営改善支援先のランクアップ先数等を公表</li> <li>・信用金庫業界内研修への派遣</li> <li>・子会社あきしん総研㈱で派遣研修実施</li> <li>・中小企業診断士育成のための研修体制の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきしん土日相談センター」において、公認会計士による無料経営相談を実施</li> <li>・信用金庫業界内研修への派遣</li> <li>・子会社あきしん総研㈱で派遣研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記取組みの継続と強化</li> </ul>

<p>(3) 事業再生に向けた積極的取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の経営相談、事業再生支援のための相談窓口として「あきしん土日相談センター」にて無料相談を実施する。このうち、毎月第2・第4土曜日は、公認会計士による無料相談日とする。</li> <li>・本部ヒアリング先の充実と支援先の拡大を図り、営業店と本部が連携した経営改善指導を行い、事業再生に向けた取組みの強化を図る。</li> <li>・子会社あきしん総研㈱による経営改善提案書の作成をより充実させ、同提案書をもとに改善計画および事業再生の実践に取組む。</li> <li>・地域の中小企業を対象とした事業再生ファンドの組成については、必要に応じて積極的に活用を図る。また、DDS等については、必要に応じて活用を検討する。</li> <li>・中小企業再生支援協議会については、事業再生を図る上で必要とする企業があれば積極的に活用を図る。</li> <li>・子会社あきしん総研㈱への派遣研修、および信用金庫業界内研修等への積極的な参加により、事業再生についての能力向上を図る。</li> <li>・再生企業に対する支援融資としては、必要に応じてDIPファイナンス等を活用して取組む。</li> <li>・再生支援実績や再生ノウハウ等について、特色ある事例等についてはディスクリート誌、ホームページ等で公表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきしん土日相談センター」において、公認会計士による無料経営相談を実施</li> <li>・東北地区信用金庫協会主催「目利き力養成講座」へ代理係長クラス4名派遣</li> <li>・子会社あきしん総研㈱で派遣研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきしん土日相談センター」において、公認会計士による無料経営相談を実施</li> <li>・東北地区信用金庫協会主催「企業再生支援講座」へ店長クラス2名、「相談業務支援基礎講座」へ代理クラス2名派遣</li> <li>・子会社あきしん総研㈱で派遣研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきしん土日相談センター」において、公認会計士による無料経営相談を実施</li> <li>・信用金庫業界内研修への派遣</li> <li>・子会社あきしん総研㈱で派遣研修実施</li> <li>・平成17年度中の再生支援実績や再生ノウハウ等について、特色ある事例等についてはディスクリート誌、ホームページ等で公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきしん土日相談センター」において、公認会計士による無料経営相談を実施</li> <li>・信用金庫業界内研修への派遣</li> <li>・子会社あきしん総研㈱で派遣研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記取組みの継続と強化</li> <li>・平成18年度中の再生支援実績や再生ノウハウ等について、特色ある事例等についてはディスクリート誌、ホームページ等で公表</li> </ul>
<p>(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等 担保・保証に過度に依存しない融資の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先企業への営業店長の定期的訪問を強化するなど、モニタリング強化により企業実態の正確な把握に努める。</li> <li>・引き続き、保証協会と提携した「あきしん事業応援ローン300・1000」を推進する。</li> <li>・企業信用格付システムおよび中小企業信用リスクデータベースの活用強化により、債務者区分と整合的な内部格付制度の構築を図るほか、金利設定のための内部基準の整備を図る。</li> <li>また、内部格付やスコアリングモデルに基づく融資審査の確立を図るなど、融資審査業務の高度化を図る取組みを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下期からの企業信用格付システム本格運用に向け、内部格付に基づく債務者区分との整合性の検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部格付やスコアリングモデルに基づく融資審査の検討</li> <li>・中小企業信用リスクデータベース活用の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部格付やスコアリングモデルに基づく融資審査の実施</li> <li>・中小企業信用リスクデータベース活用の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部格付やスコアリングモデルに基づく融資審査の実施</li> <li>・中小企業信用リスクデータベース活用の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記取組みの継続と強化</li> </ul>
<p>(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等 中小企業の資金調達手法の多様化等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信用保証協会保証の「売掛債権担保融資保証制度」および「私募債保証制度」の推進強化のため、信用保証協会からの講師を招聘して研修会を開催する。</li> <li>・「あきしんTKC経営者ローン」の推進強化のため、商品内容の見直しをする。</li> <li>・当金庫と「業務連携・協力に関する覚書」を締結している中小企業金融公庫と連携し、必要に応じて地域CLO等に取組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業金融公庫主催の「地域金融機関CLO説明会」に出席</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信用保証協会保証の「売掛債権担保融資保証制度」および「私募債保証制度」等の関わる研修会開催</li> <li>・「あきしんTKC経営者ローン」の商品内容見直しの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直し後の「あきしんTKC経営者ローン」の発売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信用保証協会保証の「売掛債権担保融資保証制度」および「私募債保証制度」等の関わる研修会開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記取組みの継続と強化</li> </ul>
<p>(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年4月より総合企画部内に専門担当部署を設置し、苦情等事例の分析・還元を行うなど説明態勢および相談苦情処理態勢の強化を図る。</li> <li>・説明態勢および相談苦情態勢に係る階層別研修を実施する。</li> <li>・地域金融円滑化会議に継続的に出席し、その活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合企画部内に専門担当部署を設置</li> <li>・地域金融円滑化会議に出席</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明態勢および相談苦情処理態勢に係る階層別研修を実施</li> <li>・地域金融円滑化会議に出席</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域金融円滑化会議に出席</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明態勢および相談苦情処理態勢に係る階層別研修を実施</li> <li>・地域金融円滑化会議に出席</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記取組みの継続と強化</li> </ul>

<p>(6) 人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子会社あきしん総研(株)への派遣研修を継続する。</li> <li>・信用金庫業界内研修へ積極的に派遣する。</li> <li>・公認会計士、税理士、弁護士等外部講師招聘による金庫内研修を実施する。</li> <li>・事業再生支援先への人材派遣を行い、再生支援先企業、金融機関双方向から企業の将来性や技術力を的確に評価できる能力、および経営支援能力を備えた人材育成を図る。</li> <li>・中小企業支援スキルの向上を目的とした取組みとして、中小企業診断士育成等研修体制を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北地区信用金庫協会主催「目利き力養成講座」へ代理係長クラス4名派遣</li> <li>・子会社あきしん総研(株)で派遣研修実施(代理クラス1名、係長以下クラス5名、計6名派遣)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北地区信用金庫協会主催「企業再生支援講座」へ店長クラス2名、「相談業務支援基礎講座」へ代理クラス2名派遣</li> <li>・子会社あきしん総研(株)で派遣研修実施</li> <li>・外部講師招聘による金庫内研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信用金庫業界内研修への派遣</li> <li>・子会社あきしん総研(株)で派遣研修実施</li> <li>・中小企業診断士育成のための研修体制の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信用金庫業界内研修への派遣</li> <li>・子会社あきしん総研(株)で派遣研修実施</li> <li>・外部講師招聘による金庫内研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記取組みの継続と強化</li> </ul>
<p>2. 経営力の強化</p>						
<p>(1) リスク管理態勢の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業信用格付システムにより、債務者区分と総合的な内部格付制度の構築を図る。</li> <li>・貸倒実績率算定システムおよび債権償却引当金管理システムの運用強化を図る。</li> <li>企業格付システムおよび信金中央金庫が運用する中小企業信用リスクデータベースにより、信用リスク管理の高度化を図る取組みを強化する。</li> <li>・市場リスク管理については、VaRおよびBPV等によりリスクの計量化を図る取組みを強化する。</li> <li>・事務リスク、システムリスク等オペレーショナルリスクはじめ、その他各種リスク管理のための取組み体制を、必要に応じて見直しを行うなど強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下期から企業信用格付システム本格運用に向け、内部格付に基づく債務者区分との整合性の検証</li> <li>・貸倒実績率算定システムおよび債権償却引当金管理システムの運用試行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部格付に基づく自己査定の実施</li> <li>・貸倒実績率算定システムおよび債権償却引当金管理システムの本格運用による償却・引当の実施</li> <li>・中小企業信用リスクデータベース活用の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業信用リスクデータベース活用の強化</li> <li>・市場リスク管理およびその他各種リスク管理のための取組み体制強化の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部格付に基づく自己査定の実施</li> <li>・貸倒実績率算定システムおよび債権償却引当金管理システムの本格運用による償却・引当の実施</li> <li>・市場リスク管理およびその他各種リスク管理のための取組み体制強化の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記取組みの継続と強化</li> </ul>
<p>(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業信用格付システムにより、債務者区分と総合的な内部格付制度の構築を図るとともに、金利設定のための内部基準の整備を図る。</li> <li>・信金中央金庫で運用している中小企業信用リスクデータベースの活用を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下期からの企業信用格付システム本格運用に向け、内部格付に基づく債務者区分との整合性の検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部格付に基づく自己査定の実施</li> <li>・中小企業信用リスクデータベース活用の検討</li> <li>・金利設定のための内部基準の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業信用リスクデータベース活用の強化</li> <li>・金利設定のための内部基準に基づくプライシングの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部格付に基づく自己査定の実施</li> <li>・中小企業信用リスクデータベース活用の強化</li> <li>・金利設定のための内部基準に基づくプライシングの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記取組みの継続と強化</li> </ul>
<p>(3) ガバナンスの強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度毎の法定開示ディスクロージャーについて、事業年度経過後四ヶ月以内に発行する。</li> <li>・半期開示については、適切でスピーディな経営情報の開示という観点から、業界団体(全信協)の指針を踏まえ、開示項目の充実等内容の充実を図る。</li> <li>・「秋田信用金庫モニター会議」の取組みを強化する。</li> <li>・業界団体(全信協)の指針を踏まえ、総代会に一般の会員の意見を反映させる仕組み等を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「秋田信用金庫モニター会議」の開催</li> <li>・半期開示ディスクロージャーの内容検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半期開示ディスクロージャーの発行</li> <li>・「総代懇談会」の開催</li> <li>・「秋田信用金庫モニター会議」の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度毎の法定開示ディスクロージャーを、事業年度経過後四ヶ月以内に発行</li> <li>・「秋田信用金庫モニター会議」の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半期開示ディスクロージャーの発行</li> <li>・「総代懇談会」の開催</li> <li>・「秋田信用金庫モニター会議」の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記取組みの継続と強化</li> </ul>
<p>(4) 法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度毎に策定しているコンプライアンス・プログラムの内容を充実させ、一層の管理強化を図る。</li> <li>・個人情報保護法施行を踏まえ、適切な顧客情報の取扱い管理を図るとともに、個人情報についてなお一層の認識向上を図るため、階層別研修を実施する。</li> <li>・顧客情報の取扱いおよび管理状況等について、検査室および特別チームによる臨店検査・点検を、半期毎に継続して実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年度コンプライアンス・プログラムの周知徹底</li> <li>・顧客情報の取扱いおよび管理状況等について、検査室および特別チームによる臨店検査・点検の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別研修の実施</li> <li>・顧客情報の取扱いおよび管理状況等について、検査室および特別チームによる臨店検査・点検の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度コンプライアンス・プログラムの周知徹底</li> <li>・顧客情報の取扱いおよび管理状況等について、検査室および特別チームによる臨店検査・点検の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別研修の実施</li> <li>・顧客情報の取扱いおよび管理状況等について、検査室および特別チームによる臨店検査・点検の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記取組みの継続と強化</li> </ul>

(5) ITの戦略的活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度上期を目途に、現在運用中のTMから新TMへの更新が予定されている。新TMへの更新により印鑑照合システムの導入が可能となり、事務の効率化、事故防止の観点から同システムの早期導入を検討する。</li> <li>・偽造キャッシュカード問題に対応するため、共同事務センターの動向を踏まえ、ICキャッシュカードの早期導入を検討する。</li> <li>・営業店支援、情報管理などの充実を図るためC1機能活用を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・C1機能活用の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TM更新の検討</li> <li>・C1機能活用の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新TMへの更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印鑑照合システム導入の検討</li> <li>・ICキャッシュカード導入の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印鑑照合システムの稼働</li> <li>・ICキャッシュカードの導入</li> </ul>
(6) 協同組織中央機関の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信金中央金庫との「信用金庫経営力強化制度」に基づく経営分析を継続する。</li> <li>・更なる経営強化に向けて、信金中央金庫および全国信用金庫協会から必要に応じて先進事例等の情報提供を受ける。</li> <li>・信金中央金庫サポートシステムである経営コンサルティング、市場リスク管理強化のための有価証券ポートフォリオ相談、ALM支援等を必要に応じて要請する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「信用金庫経営力強化制度」に基づく決算資料を信金中央金庫に提出</li> <li>・「信用金庫経営力強化制度」に基づく分析結果の経営への反映を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「信用金庫経営力強化制度」に基づく分析結果の経営への反映を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「信用金庫経営力強化制度」に基づく決算資料を信金中央金庫に提出</li> <li>・「信用金庫経営力強化制度」に基づく分析結果の経営への反映を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「信用金庫経営力強化制度」に基づく分析結果の経営への反映を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記取組みの継続と強化</li> </ul>

### 3. 地域の利用者の利便性向上

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献等に関する情報については、年度毎の法定開示ディスクロージャーのほか、半期開示ディスクロージャーにおいても内容を充実させて掲載する。</li> <li>・地域への資金供給の状況や、預金等の地域への活用状況等について、わかり易く創意工夫を凝らした開示に努める。</li> <li>・利用者からの質問や相談等のうち、頻度の高い内容等については【Q&amp;A】を作成し、ホームページ等で公表する。</li> <li>・利用者満足度アンケートを毎年1回実施し、利用者の要望事項等を経営に反映させる取組みを行う。</li> <li>また、アンケートについては、項目を増やすなど内容を充実させるとともに、幅広い層からのアンケートを実施する。</li> <li>・相談サービスの充実を図るため、融資や年金等に係る気軽な相談ツールとして、ホームページ上での相談サービス開設を検討する。</li> <li>・地域におけるPFI方式による公共事業に対して、必要に応じて取組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総代およびモニターに対する満足度アンケートの実施</li> <li>・ディスクロージャーの発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半期開示ディスクロージャーの発行</li> <li>・頻度の高い質問、相談内容について【Q&amp;A】を作成し、ホームページで公表</li> <li>・ホームページ上での相談サービス開設の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクロージャーの発行</li> <li>・幅広い層への満足度アンケートの実施</li> <li>・ホームページ上での相談サービス開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半期開示ディスクロージャーの発行</li> <li>・頻度の高い質問、相談内容について【Q&amp;A】を作成し、ホームページで公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記取組みの継続と強化</li> </ul>
--	---	--	--	---	---	--